

# 図書館だより

開館時間(共通) 9時～17時30分  
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566  
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605



▲図書館 HP

## 今月のおすすめ

一般

【中央】

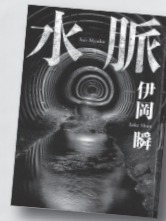


**無間線乱**  
 秋山香乃／著  
 徳間書店

明るく聡明で美しい定子。内気ながら慈愛に満ちた彰子。一条天皇をめぐるふたりの后。やっと巡ってきた二人きりの時間に、彰子が贈った冊子が『源氏物語』だった。

一般

【葦山】



**水脈**  
 伊岡瞬／著  
 徳間書店

神田川護岸の排水口で発見された遺体は、地下水脈の暗渠を流れて流れ着いたらしい。杉並区和泉警察署の合同捜査本部で、宮下は久しぶりに“あの人”と組むことに。

一般

【中央】



**警官の酒場**  
 佐々木譲／著  
 角川春樹事務所

捜査の第一線から外され、昇進試験受験に揺れる佐伯。苦小牧の牧場の強盗殺人犯四人は、札幌方面へ逃走。警官の酒場に想いが満ちていく。道警シリーズ第一シーズン完。

一般

【葦山】



**冬に子供が生まれる**  
 佐藤正午／著  
 小学館

「今年の冬、彼女はおまえの子どもを産む」その年の7月、丸田君はスマホにメッセージを受け取った。起こり得るはずのない未来の予言だが…。直木賞受賞第一作長編。

## 新着本コーナーから

- |                           |         |      |
|---------------------------|---------|------|
| 一般 ユーカラおとめ                | 泉ゆたか／著  | 【中央】 |
| 一般 夜明けの花園                 | 恩田陸／著   | 【葦山】 |
| 一般 二人キリ                   | 村山由佳／著  | 【葦山】 |
| 一般 人生に期待するな               | 北野武／著   | 【中央】 |
| 一般 夏目家のそれから               | 半藤末利子／著 | 【葦山】 |
| 児童 ぷるぷるとろける 300円でひんやりデザート | 宮沢うらら／著 | 【中央】 |

## 4月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	23	24	25	26	27
28	㉑	㉒	1	2	3	4
5	⑥	⑦	8	9	10	11

○ 中央休館日 □ 葦山休館日  
 ◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

## 4月のおはなし会

中央図書館 13日(土) 11時～  
 葦山図書館 27日(土) 11時～  
 くぬぎ会館こども広場  
 18日(木) 10時10分～  
 ※事前申込不要

## お知らせ

### ゴールデンウィーク中も どちらかの館が開館します

	中央	葦山
4月27日(土)	○	○
28日(日)	○	○
29日(月・祝)		○
30日(火)		○
5月1日(水)	○	
2日(木)	○	○
3日(金・祝)	○	
4日(土・祝)	○	
5日(日・祝)	○	○
6日(月・祝)		○
7日(火)		○
8日(水)	○	

○：開館日

※休・開館日は図書館 HP や各館配布のカレンダーでもご確認ください。

# 文化財通信

その 226

## 文化財課おすすめ文化財 第1回 おおびらエー 大平A遺跡

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428

私たちの住んでいる伊豆の国市には、皆さんご存じのとおり多くの文化財があります。今月から6回にわたり、「文化財課おすすめ文化財」として、文化財課いちおしの文化財を紹介いたします。伊豆の国市にたくさんある文化財は、市の魅力のひとつです。今回から改めて見直していきたいと思えます。第1回目は大平A遺跡です。

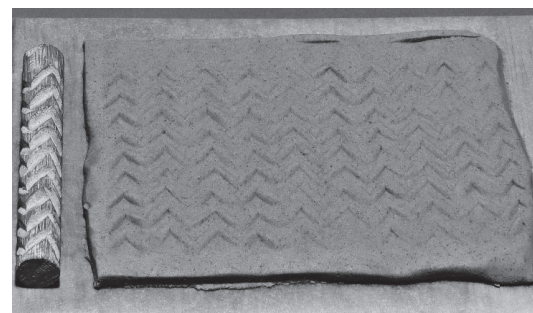
大平A遺跡は、大仁地区長者ヶ原にある遺跡で、巢雲山の西側の下、伊豆の国市と伊豆市修善寺との境界の辺りに位置しています。昭和53(1978)年～57(1982)年の間



▲写真1：市有形文化財  
大平A遺跡出土山形押型文土器

に発掘調査が行われ、縄文時代早期から後期(約1万年前～3千年前)までの遺構や遺物が出土しています。出土した遺物の中で、市の指定文化財になっているものが、「山形押型文土器」です。全体の約60%が残っていたため、復元をして、伊豆の国市郷土資料館の入口に展示しています(写真1)。

押型文とは、縄文土器の文様のひとつで、鉛筆くらいの太さの棒状のものに文様を彫り、土器の表面に押し付け回転させて付けたものです(写真2)。



▲写真2：山形押型文の復元

この山形押型文土器は、底が尖った深鉢型をしており、土器の縁が外側に反っています。その反っている部分に横向きで押型文が施され、その下は少し間を空けて横向きに押型文が施されています。土器の中間くらいから縦向きで施されています。縄文土器の文様は主に装飾のために付けられていたと考えられています。これまでの研究によって、土器の文様の構成から時代や地域を特定することができるようになりました。縄文土器を見るとときは、ぜひ文様に注目してみてください。